

委員氏名	意見	種別	対応案
MK観光バス株式会社 代理奥山勝則氏	運行車両の小型化を提案させていただきます。 交通会議では、想定より利用者数が多かったと報告がありましたが、実際(運行ドライバーの意見)は朝夕はますますご乗車されますが、通勤・通学時間帯を除けば二桁の人数が乗車することはほぼありません。 「カナちゃんバス」で使用されている車両に全車入替をして、経費(初期投資・リース料・燃料費)の節約になり、運行ドライバーも河南町内の狭路での運行負担の軽減にも繋がります、より安全運行に勤められます。 *運行担当会社としての提案でもあります*	バスの運行形態の検討	P59【バスの安全な運行管理】 「新たな車両の導入を検討する。」の前に、「環境に配慮し、かつ利用者数に応じた」を追加します。
谷委員	スクールバスについては、児童・生徒の登下校、校外学習の時間以外は有効に活用できると考えております。 しかしながら、カナちゃんバスの減便対応としてのスクールバスの一般混乗については、別紙の運行時刻表のとおり、短時間で登下校しているため、困難です。 なお、この登下校時間は小学校統合時に保護者の方々に了解を得たものです。	スクールバス、福祉支援(外出支援)の継続・有効活用について	P60【取り組み施策】 既存資源の有効活用という視点でその有効活用を検討していくということで、実際のスクールバス運行の可否までは考えていません。また、別途委員からもこの項目を求める声も複数あり、原案のままとして考えています。
高本委員	会議に出席してますます公共交通の今後について、課題が多く簡単に意見すら申し上げられませんでした。しかし、この問題は住民として対応していかなければならないことです。地区により異なると思いますが、私の住んでいるさくら坂としては、現在の状況を持続することを第一に考え行動したいと思えます。	全体	P57 方針1 まち全体で地域公共交通を維持していく取り組みを行うことで対応します。
柴田委員	現状においては、計画(素案)に賛成する。 ただし、以下の要望・検討事項についても議論・検討を進めてほしい。	全体	
	①7時から18時台までの運行 →役場の用事・会議等で、8時～18時までのバス運行が必要(カナちゃんバスで役場に行くと、役場では10時～16時までしか利用できない) →中学校登下校においても、7時～8時、17時～18時のバス運行が必要	カナちゃんバスについて	P61【路線バス・町内循環バス・タクシー】 全体の交通手段の見直しにより対応します。
	②カナちゃんバス利用促進提案 ・役場の窓口で利用者1名に対し、帰り乗車券(100円)を1枚配布する ・利用券は、役場窓口で受け取る ・ただし、役場に用事のある方のみを対象(会議や風呂・かなんびあ等の利用客は除く。(検討事項?))	カナちゃんバスについて	P59 方針1 新たに「地域公共交通の利用促進」の項目追加により対応します。
	①バス運行の総合的な活用方策の検討 ・公共交通・小学校送迎車の共用運行 ・社協・民間施設送迎車・芸大送迎車等の総合的な運用方法の検討 ・必要に応じて、タクシー会社、観光バス・民間タクシー等の 利用の検討	バス運行について	P60【既存資源の有効活用】により対応します。
	②役場周辺の空き地を有料駐車場とし収益を計る。 ・駐車場使用料による収益を期待 ・バス利用促進に寄与 ・立体駐車場の整備の検討・有料駐車場経営社との提携 ・駐車場貸出利用策の検討	バス運行について	行政運営全体での財政面の課題であり、本計画によるものとはしないこととします。
関委員	①バス自動運行システムの利用 ・将来の自動運転は必須 ・そのためのルート・利用策の検討 ・必要ルート整備(道路他を含めて) ・大阪府から、万博後の無人バス車両受け入れに対する整備・検討	将来展望	P62 方針3 新たなモビリティサービスの推進のための取り組みで対応します。 まち全体で地域公共交通を維持していく取り組みを行うことで対応します。
	②南河内地域総合計画 ・すべてにおいて、河南町を含め2町1村では、パイが小さすぎる。 ・もっと大きな規模での大阪府内の市町村統合の見直しに期待する。	将来展望	行政運営全体での課題であり、本計画によるものとはしないこととします。
	この素案に大いに期待し賛同します。住民・利用者参加型の計画になるように以下の点の検討をお願いいたします。	全体	
	公共交通に対する住民や利用者の意見を施策に反映するためにアンケートや利用者調査を行うとともに、「交通相談窓口」を設け、気軽に電話やメールで事故通報も含め対応できるような体制の検討をお願いします。近鉄バスや旧金剛バス、カナちゃんバスが走っていますが、住民からするとどれも同じコミバスとの認識があるようです。そこで、問い合わせ窓口としての「相談窓口」を大きくアピールしてください。意見・要望などを気軽に、遅延連休連絡の緊急通報をLINE等で出来る体制を。コミバスHPをつくり時刻表・運賃・定期券・回数券・運行情報など情報発信と共に利用者の声も反映されるコミバス運行体制(責任と広報)を検討ください。	コミバスについて	P59 方針1 新たに「総合窓口の設置」の項目追加により対応します。
	公共交通の維持は、自治体の基本的責務だと思っています。低運賃と利便性の向上が基本だと思います。駅までのコミバスができたのは画期的だと思います。低運賃で利用でき、脱炭素に賛同し、それなら多くの住民が車からバスに移行できるように誘導できたらいいと思います。そのために「国や府の補助金・交付税の制度研究を行って住民負担と自治体負担を軽減してください。また、サブスクについては、7割引き年間定期券発行等の先行市の事例を参考にして低賃金・利便性の向上を検討・研究してください。(小山市・武蔵野市・京都の醍醐地域・横浜市など) クラウドファンディングや、ふるさと納税を利用して、返礼品に旧金剛バスの部品や、4市町村コミバスのポスター、写真、1日乗車券、7日間フリー券などカラフルなコミバスが集まる利点をいかした「動くバス博物館ようこそ」キャンペーンを旅行会社と提携するなど観光要素の検討もいいかなと思います。	施策について	P59 方針1 の中で、適正な受益者負担、利用促進などで対応します。
デマンド形式やスクールバスの混乗は、強くお願いします。交通資源として捉え、無駄なく利用できるように提示されて素晴らしいと思いました。カナちゃんバスが補充運行のため短縮されたため、「中学校まで以前と同じく100線で行けるように」検討してください。回送便の利用も検討ください。	施策について(スクールバスの有効活用について)	P60【既存資源の有効活用】により対応します。	
ライドシェア・自動運転については、技術・安全・安心面で課題が多くあります。現時点では、待遇改善でコミバス運転手の確保と公共交通の充実が現実的だと思います。ダイヤや、車両の見直しなど経費の節約と、寺田ターミナル化と合わせ、住民・利用者の意見を尊重しながら検討を進めてください。	施策について	P62 方針3 新たなモビリティサービスの推進のための取り組みで対応します。	
やまなみタクシーについて、空率率が高いので、予約制にして利便性を高めるか、タクシー券を発行するか費用対効果も含め検討してください。	やまなみタクシーについて	P61【路線バス・町内循環バス・タクシー】 全体の交通手段の見直しにより対応します。	
行政主導型から住民参加型にすることが、持続可能な公共交通の要になります。さくら坂や鈴美台の関心が高いのも、以前から、公共交通をつくる会の活動が町と共に進んだことが継続されているからです。パブコメとともに、利用者や住民団体・自治会の活動を推進できるように考えていくことが必要だと思います。	住民参加型の地域公共交通について	P60 方針2 協働・連携のものとして実現する取り組みとして進めてまいります。	